

東海支部第80回塑性加工懇談会

「鍛造品の高精度・ネットシェイプ化をささえる表面処理・潤滑法の動向」

日時：平成28年2月3日(水)13:00～17:00
会場：刈谷市産業振興センター
[〒448-0027 愛知県刈谷市相生町1-1-6
電話(0566)28-0555]

交通：名古屋駅からJR快速で約20分、JR刈谷駅から徒歩3分

(参照 <http://nagoya.cool.ne.jp/matari01/chizu.html>)

協賛：精密工学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 型技術協会, 日本鉄鋼協会の各東海支部, 自動車技術会中部支部, 日本鍛造協会

趣旨：鍛造品に対して高精度化・ネットシェイプ化の要求がますます強くなる中で、型摩耗による精度低下、焼き付き等による鍛造品の表面性状の悪化が重要な課題となってきました。

こうした課題への取り組みとして型と鍛造品の間にあって製品要求に答えるため金型への表面処理とともに、固体・液体の潤滑方法が有効な方法として実用化されています。

本懇談会では、こうした表面処理・潤滑法の最近の開発・実用化動向を紹介いただき議論を行います。

プログラム:

司会：名古屋特殊鋼(株) 庄司秀夫君
開会の挨拶：(13:00～13:05)

日本塑性加工学会東海支部長 黒田吉孝 君

(1) 表面処理の発展と今後 (13:05～13:45)

岐阜大学 土屋能成 君

(2) PCVD 法とブラックパールナットの各種金型への応用 (13:45～14:25)

オリエンタルエンジニアリング(株) 河田一喜 君

(3) 皮膜組成が及ぼす摺動特性への影響 (14:25～15:05)

日立金属(株) 本多史明 君

<休憩> (15:05～15:15)

(4) 冷間鍛造用ボンデ潤滑と一液潤滑の動向 (15:15～15:55)

日本パーカライジング(株) 大竹正人 君

(5) 冷間鍛造用一液潤滑と油潤滑の動向 (15:55～16:35)

大同化学工業(株) 黒田将文 君

(6) 総合討論 (16:35～17:00)

司会 庄司秀夫君

定員：100名(定員になり次第締め切ります)

参加費：会員：5,000円(協賛学協会を含む, 学生会員は半額), 非会員 8,000円

申込方法：E-mailまたはFAXにて「東海支部第80回塑性加工懇談会申込み」と題記し, (1)氏名, (2)勤務先(名称・部課名), (3)通信先(〒, 住所, 電話, FAX, E-mail), (4)会員資格(所属学協会および会員種別)を明記して, 下記(a)までお申し込み下さい。

※参加費は参加券・請求書を受領後に下記(b)へ振込にてご送金下さい。参加費受領後の返金はできません。

※連絡には通常E-mailを使いますので、できるだけE-mailでお申し込み下さい。

(a) 申込先：日本塑性加工学会東海支部 小森 和武
大同大学工学部総合機械工学科
E-mail: tokai@jstp.or.jp

TEL:052-612-6111, FAX:052-612-5623

(b) 振込先：三菱東京UFJ銀行 金山支店
普通預金口座:0008932
口座名義:「日本塑性加工学会東海支部」